

目次

飼育体験をとおして子どもが得たもの ～体験前後の言葉の変化から～	河村 奈美子	1
九十九島水族館における資料の保存と活用	門脇 慧史	6
標本類の登録システムと課題	草野 晴美	8
出張授業での様々な標本の活用例－関心や気づきを促す工夫－	松本 朱実	11
連携が根付いていくために～物・対話・信頼, そして継続～	古市 博之	14
動物園と学校現場のよりよき連携に向けての課題と展望	大鹿 聖公	18
ビデオ教材の開発と貸出について	澤田 直子	22
シジュウカラガン羽数回復事業の小学生への普及啓発	釜谷 大輔	25
Win-Win-Win 実現のためのオリジナル紙芝居	佐渡友 陽一	27
利用者とともに考える資料の活用方法の検討 来園者参画型図鑑づくりを事例として	福永 恭啓	34
その後も剥いて剥いて剥きまくる、なにわホネホネ団	乾 公正	40
大学との連携による標本製作と動物園での活用	斉藤 千映美	45

英国で行われた第 21 回国際動物園教育担当者隔年会議(IZE)に参加して	高橋 宏之	47
動物園を活用した教育の実践 ―動物に興味を持つ―	梶浦 文夫	55
羊毛の簡易な洗浄・着色法の一例とその活用	半田 智子	59
標本を用いたハンズオン展示	圓戸 恭子	62
写真資料の長期保管と利用のための提言 ～デジタルデータによる写真の諸問題～	矢島 仁	64
水族館の飼育生物を利用したフジツボ類の研究	山口 幸	67
サマースクール視覚障害児クラスにおける標本の活用	亀田 愛子	70